

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社NIPPO岸和田倉庫	階数	地上5F
建設地	大阪府岸和田市臨海町	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	10人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,600時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年5月 予定	評価の実施日	2022年3月6日
敷地面積	4,772 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	2,272 m <sup>2</sup>	確認日	2022年3月14日
延床面積	9,253 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆

個別計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	77%
③上記+②以外の	77%
④上記+	91%

このグラフは、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量を評価者自身の計算(個別計算)により算出した結果を示しています。LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート(個別計算)」を参照されたい

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.5

音環境	3.0
温熱環境	1.6
光・視環境	3.0
空気質環境	3.3

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3

機能性	2.9
耐用性	2.9
対応性	4.2

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.0

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

建物外皮の	4.3
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5

水資源	3.4
非再生材料の	3.4
汚染物質	4.0

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.7
地域環境	3.0
周辺環境	2.8

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 内装がある部分の内装下地・仕上材は全面的にF☆☆☆☆を使用する。 節水型の便器を使用する。 植栽は高さの異なる樹種を採用し、動物の生活圏への配慮をしている。		<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> 事務所部分の内装下地・仕上材は全面的にF☆☆☆☆を使用する。	<b>Q2 サービス性能</b> 階高を大きくし、建物の有効性を高めた。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 出来る限り緑化をしている。
<b>LR1 エネルギー</b> BPIm=0.60	<b>LR2 資源・マテリアル</b> トイレは、節水型便器を使用。給湯は節湯器具を使用する。	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な量の駐車スペースを確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0134

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	株式会社NIPPO岸和田倉庫					
	建設地	大阪府岸和田市臨海町					
	用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

## エネルギー消費量の報告

### 【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.3	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

### その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		